

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

八重山林業研究会（第2回）の開催

7月17日（木）

令和7年7月17日（木）、沖縄県八重山合同庁舎において、第2回八重山林業研究会を開催した。

八重山林業研究会は、八重山地域の森林・林業・緑化の推進に寄与することを目的として設立された、行政・民間合同の研究会であるが、本日の内容が主に木材利用に関するものであったことから、林研メンバー以外にも島内で活躍する木工関係者に声掛けを行い、参加者は計17名となった。

研究会では、林業普及指導員を講師として、木材を利用する上で非常に重要な要因である木材乾燥技術に関する勉強会を行い、併せて沖縄県森林資源研究センターで、令和3年から本格的に実施している県産木材の乾燥特性の把握に関する研究成果について報告した。特に石垣島で資源量の豊富なリュウキュウマツについて、天然乾燥や人工乾燥に要する期間や、参考となる人工乾燥スケジュールについて情報提供を行った。

さらに、今年度は、石垣島内でリュウキュウマツのマツカレハによる大きな被害が確認されていることから、マツカレハの生態や防除の方法、また石垣市における過去の被害状況などについても情報共有を行い、関係者各位で被害状況を注視していくことについて確認した。

今後も定期的に研究会を開催し、会員の森林・林業・緑化関係の知識及び技術の向上、また情報共有の場として、関係者間の連携強化を図っていきたい。



研究会の様子

（報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川）